

平成 29 年 8 月 28 日

全校集会校長講話

誇り高き巻高の生徒諸君、こんにちは。大きな事故もなく久しぶりに全校生徒の元気な顔を見ることができ、大変うれしく思えます。

私は夏休み中、皆さんの様々な姿を見ることができました。真剣なまなざしで学習合宿や補習で勉強に励む人、全国大会で躍動する人、秋の大会に向け部活動に励む人、あるいはオープンキャンパスで進路への意識を高めた人、海外研修で国際理解の大切さを学んだ人もいました。それぞれの頑張りは、今後の皆さんの学校生活を支える大きな力になるものと思います。

夏休み中、もう一つうれしい出来事がありました。巻高校 P T A が優良 P T A 文部科学大臣表彰を受けたことです。新潟県の約 100 校の高校の中で、巻高校 P T A が最も優れた P T A 活動を行っていることを意味します。これは昨年度から P T A 独自で保護者対象のいじめアンケートなど、いじめ防止への取組、巻高カレンダーや巻高タオルの配布、応援団旗の寄贈、白楊祭文化の部の餅つき大会やロードレース大会の参加など、P T A が学校と一緒にあって、皆さんのよき育ちのため一生懸命活動したことが高く評価されたことによる表彰です。

5 月の P T A 総会や 6 月の白楊祭体育の部には、多くの保護者の方々が来校されました。交通安全街頭指導には、保護者の方が、朝早く遠方から来ていただき先生方と一緒に通学の安全を呼びかけていただきました。皆さんが学校生活を送れるのも保護者の方の支えがあるからです。巻高校は生徒だけでなく、P T A も全国に誇る活動をしていることを心に留めてください。

さて、夏の甲子園大会も終わりましたが、プロ野球、北海道日本ハムファイターズ事業総括本部長を務める前沢 賢さんという人がいます。25 年前、高校球児として千葉県大会を戦っていました。甲子園目指してと言いたいところですが、自分のチームを見ていると「甲子園には行けない」と分かってしまったというか、投げても全然、甲子園を想像できなかったそうです。卒業後、ある大学に野球推薦で入学しました。同期にはいわゆる「甲子園組」が大勢いましたが、実力では自分の方が上だと感じることもあったそうです。なぜ、彼らは甲子園に行けたのか、彼らに聞いたら「だって、甲子園に行くつもりで高校に入ったから」と言ったそうです。前沢さんは自分とはそこが決定的に違うと感じました。つまり自分が想像できないことは達成されないということです。

今、前沢さんは新しいスタジアム建設の構想を練っています。日本では野球を見るために球場に来るのが普通ですが、もっとたくさんの方が集えるよう、スタジアムとレストラン・ショッピングモールを一体的に作る国内初のプロジェクトを進めています。もちろん明確なイメージをもってです。

私が皆さんに考えて欲しいのは、自分の進路目標を明確にもつことの大切さです。なんとなくサラリーマンになりたいではなく、例えば絶対に商社マンになりたい、そのため目指す大学と学部を即座に答えられるレベルです。ここまではっきり言えば、志望校の試験科目を調べます。個別入試で小論文があれば自分の意見を論理的に書けるように勉強をします。商社マンなら海外との取引があります。仕事に必要な外国の文化を理解し、英語の力を付けるために頑張るでしょう。こうした学校生活を送れば、目標実現の可能性はぐっと近づくとと思います。

皆さんは、目標を明確にもつ大切さについて、何度か聞いていると思います。でも私はあえてこの時期だから話します。1・2年次生はオープンキャンパスに行ったばかりです。進路目標を明確にするチャンスです。3年次生の諸君は、受験勉強が本格化しています。現時点の模試の結果で弱気になる必要はありません。今もっている目標を自分から消さないください。センター試験まであと4か月半、不安やあせりもあると思います。でも人間の身体は一つ、与えられた時間は1日24時間、皆同じ条件で生活しています。したがって、自分の夢や希望、目標を達成しようとするれば、思い悩む前に、まず自分のできることを実行すること、今自分が何をすべきかを判断することが大切です。

中国の思想家孔子の弟子が、師の教えについていけず、自分の力のなさを訴えたところ、「力足らざる者は中道にして廢す。今汝かぎれり」と教えています。つまり、力が足りないのではなく、自分の力を十分に出さないうちに自分を見限り、あきらめてしまっていることを諫めた言葉です。自分の可能性を信じて努力すれば必ずや達成成就ができるはずです。人生の正念場で踏ん張る経験は決して無駄になることはありません。

これからは気候も良くなり勉強・スポーツに打ち込める時期になります。実りの秋とも言われますが、日々の勉強の他に、部活の秋季大会のほか、白楊祭文化の部、ロードレース大会、2年次生は修学旅行など、大きな学校行事も控えています。皆さんにとっても1年間で最も成長する実り多き時期となるよう願っています。

以上、私からの講話を終わります。